

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	6	今年度身体拘束の事例はありませんが、身体拘束に関する研修、委員会が開催できていません。玄関ドアは外からは入れませんが、中からは外に出られる自動ドアです。各ユニットの出入口は入居者様が出ていかれた事例があり、スリーキーの使用を継続しています。	年2回の研修・3か月に1回の委員会を実施し、職員が入居者にとって何が最善かを判断できるよう指導してまいります。各ユニット出入口のスリーキーについて、協議し開錠する時間を作る	年2回の研修、3ヶ月に1回の委員会を年間計画に組み入れ実施します。なぜ開錠する事が必要かを話し合い、理解した上で協議し、開錠時間について進めます	6ヶ月
2	35	年2回の避難訓練は消防署の指導のもと実施していますが、実質的な実施ができていないのが課題です。訓練後の振り返りミーティングも実施できておりません	年2回の避難訓練は引き続き実施し、年1回のシュミレーションを実施する。訓練後の振り返りミーティングを行い、課題や気づきを話し合い円滑に進められる方法を構築していきます。	実質的な訓練を年間計画に組み入れ、シュミレーションの実施を行います。訓練後直近の職員会議で振り返りミーティングを実施します	6ヶ月
3	11	今年度は定期的な会議やカンファレンスが実施出来ていません	月に1回フロア会議を開催し、職員の気づきや疑問点について協議する。フロア会議の中で時間調整を行い、カンファレンスも同時に開催します。	シフト作成時はフロア会議を含めた内容で作成する。毎月のフロア会議の中で1～2名の入居者についてカンファレンスを行う。	6ヶ月
4	4	昨年から運営推進会議は再開できていますが、こちらからの報告がメインで、地域の方との交流が減少しています	コロナ禍以降、運営推進会議は実績報告のみで、地域の活動も中止が続きました。昨年対面での運営推進会議を再開しており、地域の活動も少しずつ再開しています。地域の方から情報を収集し、活動や催しにも参加していきます	運営推進会議の開催時に地域の情報を確認し、スケジュールに組み入れていく。再開した大淀東地域の認知症カフェにも、天気や気候を考慮しながら参加する	6ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。